

みんなのしあわせ

主な内容

- ともに歩む ともに暮らす……………2～3P
- ご芳志ありがとうございました……………7P
- 令和6年度事業報告・決算報告……………4～5P
- ボランティアセンターだより……………8P
- 共同募金・歳末たすけあい援護金のご案内……………6P



ともに暮らす

地域共生のまち・みとを目指して

本会では、様々な生活課題を抱え支援が必要な方、障がいがある方、地域で暮らす方々に、生活や就労など、あらゆる相談について一緒に考え、様々なサービスを活用することにより、地域でその方らしく暮らすお手伝いをさせていただいています。

今回の「みんなのしあわせ」では、本会のサービスを利用しながら、地域で生活するお二人の方の様子をお伝えします。



本会最新情報は、
HPや各種SNSへ掲載中です



水戸市社会福祉協議会

を検索



杉田さん



ともに歩む ともに暮らす ～地域共生のまちをめざして～

担当課 相談支援課・生活支援課



Kさん

Kさんの場合

Kさんは、市内のアパレルショップで品出しを担当しています。休みの日は、障害者支援施設いこいで、利用者支援のボランティアをしています。仕事とボランティアで活躍するKさんにお話を伺いました。



アパレルショップでの
仕事の様子

職場定着の支援

就職について悩んでいた時、障害者就業・生活支援センターの担当職員に相談し、1週間の職場体験を経て、「この仕事ならできる、やってみよう」と感じ働くことになりました。就職後も担当職員と相談を続けていくなかで「自分の気持ちを職場の人に話せない」と打ち明けたところ、職場との間に入りコミュニケーションが図れるよう支援してくれました。

職場では、スタッフの名札の漢字にふりがなを付けてくれるようになり、スタッフの名前を覚えることができました。

現在の職場での様子



スタッフの方と話す様子

た。店長やスタッフが声をかけてくださり、職場で少しずつ話せるようになりました。勤めてから12年が経過しましたが、楽しくお仕事をしています。

お休みの日の過ごし方

「いこい」でのボランティア活動のきっかけは、担当職員と休日の過ごし方について話をしたところ、ボランティア

活動を行うことで、余暇活動の充実が図られることと、様々な方々と繋がりが広がるからとアドバイスを受けたことから始まりました。

入浴後の利用者さんに声をかけ、髪をタオルで拭き、ドライヤーで乾かすまでの一連の動きは、とてもスムーズです。利用者さんは、「嬉しい、ありがたい、また来てね」と話すなど、Kさんが来る日を楽しみにしています。



入浴後の利用者さんの介助の様子

スタッフの生田目さんから

Kさんは、仕事の精度が高く安心して仕事を任せることができます。新人スタッフに仕事を教えるなど、仕事への責任感があり、仕事が好きなきもちが伝わります。売り場の品出しも担当し、お客様への挨拶ができるようになりました。接客もできる限り行っています。日々の仕事で成長がみられ、これからも頼りにしています。

◎入浴や給食、機能訓練などご希望の方は…

身体障害者デイサービスセンターあかつか

水戸市赤塚1-1(福祉ボランティア会館向かい)

☎ 029-309-6633

FAX 029-309-7735



◎「働きたい」と就職を希望する方は…

水戸地区障害者就業・生活支援センター

水戸市赤塚1-1(福祉ボランティア会館向かい)

☎ 029-309-6630

FAX 029-251-6630



皆さまより集められた社協会費は、支えあい・助けあいのための事業推進を支えています。

杉田さんの場合

杉田桂子さんは、身体障害者デイサービスセンターあかつかに週に3回通所しながら、自宅で一人暮らしをしています。杉田さんの暮らしについてお話を伺いました。



杉田さんが
ミシンをかける様子

デイサービスで

杉田さんは、30年ほど身体障害者福祉センターつどいに通ってきました。

今年4月、身体障害者デイサービスセンターあかつかと統合したことで、環境の変化がありました。デイあかつかは、赤塚駅北口そばにあり「銀行もスーパーも近くて便利」と笑顔を見せます。

杉田さんは、着物のリメイクが趣味の一つで、よくミシンがけを行っています。その際「職員に、(生地のしつけ縫いやミシン針への糸通し、生地を押さえ、縫い終えた糸の始末等を手伝ってもらえるのが、とてもありがたい」と話します。

ご自宅での過ごし方

毎日のヘルパーさん、週3回の訪問看護と訪問リハビリのサービスを利用しています。リハビリは、6月に開始。「疲れるけど、これからも元気でいたいから頑張っています」と話します。



ヘルパーさんと笑顔で
大好きな歌手の写真とともに

お休みの日には、着物リメイクの素材や、生活に必要な買い物にヘルパーさんやボランティアさんと一緒に出かけます。時には、おしゃれをしてボランティアさんと一緒に大好きな歌手のコンサートにも出かけます。



デイあかつかの職員とミシンがけ
お手製の作品

ライフワーク

杉田さんは、平成13年に障がい当事者や家族、ボランティアらとともに、「NPO法人自立支援センター・ライフサポート水戸」を立ち上げました。

「障がいがあっても社会の役に立ちたい」との言葉通り、設立以来25年活動に携わっています。その活動は多岐にわたり、車椅子ユーザーの視点から市内外各地の道路が、実際に通行しやすいかの調査活動や、赤い羽根共同募金での街頭ボランティア活動などを行っています。

ライフサポート水戸では、ヘルパー事業も行っており、在宅の障がい当事者や家族の心強いパートナーとなっています。

また、杉田さん自身も、「ひとりで街に出かけて帰ってくるのがライフワーク」と話します。スーパーに出かけて、サービスカウンターの店員さんに声をかけ、かごを持ってもらい一緒に店内を歩きます。商品を代わりに手に取ってもらったり、複数ある商品から杉田さんが選べるように手伝いをしてもらいます。こうしたことを周りに伝えていくことで、ハンディを持った人も暮らしやすい世の中に

なっていきたいと心から願って行動しています。

杉田さんは、「私が生活するためには、いつも誰かの助けが必要で、助けてくれる皆さんにいつもたいへん感謝しています。こうやって、在宅で生活することで障がいを持っていても、地域で普通の生活を送るのが当たり前だということを知ってもらいたい」と力強く語りました。

デイあかつか職員の

櫻村さんから

デイあかつか利用時には、明るい性格でコンサートに行った話などで周囲を楽しませてくれます。これからも社会資源を活用しながら、杉田さんらしく生活を続けてください。

ヘルパーの川俣さんから

私は、まだライフサポート水戸で働き始めて2年目ですが、杉田さんは10年以上、ヘルパーを受け入れながら生活を送っていらっしゃいます。

複数人のヘルパーが担当していますが、どのヘルパーも、いつも温かく迎えて下さってとても感謝しています。人生の大先輩としてこれからもサポートしていきたいです。よろしく願っています。

令和6年度 事業報告・決算報告



【問合せ】総務企画課 ☎029-309-5001

●新たな取り組み

- ・生活困窮者自立支援法に基づく「一時生活支援事業」の開始（4月）
- ・いきいき交流センターを拠点とし、移動販売車を活用した地域住民の買物支援を開始（6月）
- ・第4次水戸市地域福祉活動計画（福祉のまちづくり推進計画）及び第4次水戸市社会福祉協議会中期経営計画の策定・推進（7月）
- ・大成女子高等学校家政科と知的障害者就労支援施設みのりのコラボによるパンの制作（9月）
- ・茨城ロボットのマスコットキャラクター「ロボスケ」と赤い羽根共同募金のコラボによるオリジナルの缶バッジとクッキーを制作（12月）
- ・全参集型ブロック会議「ささえあう地域づくりの鍵はどこに～支部社協の使命実現に向けて～」の開催（2月）



全参集型ブロック会議の様子



ロボスケクッキー



大成女子高&みのりの
コラボパン

実施事業は随時、
facebookやInstagram等
で配信中です！
ぜひ、「二次元コード」
からご覧ください



facebook



Instagram

第52回金婚祝賀会 (令和7年11月21日(金)水戸市民会館にて開催)

昭和50年までに結婚された方が対象です。
お申込みがお済みでない方は、お問合せください。

水戸市社会福祉協議会 地域福祉推進係 電話029-309-5001

●主な実績報告

- ・茨城県障害者スポーツ大会にて、本会施設利用者がボッチャ競技個人の部において第1位（5月）
- ・能登半島地震災害ボランティアセンター支援のため、輪島市に職員を派遣（5月・7月）
- ・社協活動のPRを目的としたFMぱるるんの収録（6月・9月・12月・2月）
- ・社協34支部において地域福祉推進・敬老慶祝事業「福寿のつどい」の開催（9～12月）
- ・子どもフードパントリー水戸によるフードパントリー事業への協力（7月・12月・3月）
- ・水戸ホーリーホックのマスコットキャラクター「ホーリーくん」と赤い羽根共同募金のコラボによるオリジナルの缶バッジとクッキーを制作
試合会場における共同募金運動に活用（11月）
- ・福祉講演会「防災シミュレーション（要配慮者への支援方法や当事者理解）」の開催（3月）



福寿のつどい(上大野地区の様子)



共同募金運動(ホーリーホックの試合会場)

●収入支出決算

収入 (単位:円)

勘定科目	決算額
受託金収入	15億7082万5827
事業収入	2億1291万7494
補助金・分担金収入	8588万4000
共同募金配分金収入	2488万3433
その他の収入	3501万2800
会員会費収入	2445万200
寄付金収入	225万886
施設整備等による収入・ その他の活動による収入	3139万2031
繰越金	2億6351万4516
収入合計	22億5113万1187

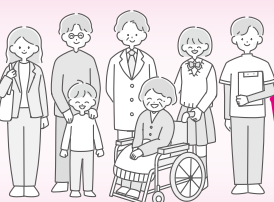
支出 (単位:円)

勘定科目	決算額
介護・生活支援サービス部門	8億7028万2976
就労支援サービス部門	3億5937万5068
法人経営部門	2億9660万1004
地域福祉部門	3億3323万7843
相談支援・権利擁護部門	2億8126万2417
支出合計	21億4075万9308



赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

10月1日から始まります



あなたの気持ちが

誰かの支えになり

まちが元気に

共同募金担当 あさか 安積

共同募金で集まった募金は、高齢者や子ども、障がい者など、地域で暮らす人々を支えるための様々な福祉活動に役立てられ、地域の皆さまが安心して暮らすための多くの活動に使われます。

さらに、災害が発生した際には、被災地への緊急支援等にも迅速に活用され、このような支援活動は、皆さまから寄せられた温かいご厚意があるからこそ実現できるものであり、市民一人ひとりが安心して暮らせる“やさしいまち”づくりに不可欠です。

今年度も、地域福祉の向上や災害に強いまちづくりの推進のため、皆さまの温かいご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。



【問合せ】

地域福祉推進係

☎ 029-309-5001

令和7年度 歳末たすけあい事業(援護金助成)の申請案内

広報みと8月1日号や水戸市社協ホームページに掲載しましたが、再度お知らせいたします。令和7年度の歳末たすけあい募金から、在宅で援護を必要としている世帯を助成します。援護金を受取るには、申請が必要です。

助成対象／在宅の方で、次の(1)と(2)に該当している世帯 ※生活保護世帯を除く。

(1) 9月1日現在で市に6か月以上居住し、世帯全員の市民税が非課税であり、世帯の月額収入が、下表の基準額以下であること
収入基準額表

世帯人員	1人	2人	3人	4人	5人	6人
基準額	127,000円	194,000円	264,000円	334,000円	409,000円	467,000円

※7人以上の場合は、1人増えるごとに6万円加算。

(2) 次のいずれかに該当すること

- ① 満65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- ② 満65歳以上の寝たきりまたは認知症高齢者のいる世帯
- ③ 義務教育で、準要保護の認定を受けている世帯または特別支援教育就学奨励費支弁区分1段階の認定を受けている世帯
- ④ 重度障害者のいる世帯で、身体障害者手帳1級(聴覚障害者は2級)または療養手帳(A・A)、精神障害保健福祉手帳1級の交付を受けている方がいる世帯
- ⑤ 未就学児のみを養育している母子・父子世帯

※対象者が、施設入所や6か月以上の長期入院などの理由で、在宅でない場合は対象外です。

申込・問合せ／令和7年9月1日(月)～9月30日(火)(必着)

申請書に記入のうえ、必要書類を添えて、直接または郵送

水戸市社会福祉協議会(市福祉ボランティア会館内)

〒311-4141 赤塚1-1 ミオス2階 ☎029-309-5001

必要書類や助成条件など、詳細は、お問合せください。

詳しくはこちら▶



みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会

令和7年5月～令和7年7月受付分(敬称略・順不同)

寄付金(社会福祉事業に)

水戸中央郵便局OB／ハイビスカスウクレレ／コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」／石川女性会／サテライト水戸／歌を楽しむわかばの会／林由香里／NPO法人 ナルク水戸／匿名9名

(令和7年度累計額 375,901円)

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

混声合唱団コール水戸／(有)小島工業所／四つばの会／塙建設工業(株)／水戸市社会福祉協議会内原支部／水戸市幼児保育課／(公社)いばらき被害者支援センター／辻武塗料(株)／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会西部支部／ガールスカウト茨城県第26団／あおい玩具(株)／水戸要約筆記サークル萌／水戸市社会福祉協議会鯉淵支部／昭和建設(株)／茨城県コンクリート製品協同組合／永井ガラス／水戸市シルバー人材センター手芸サークル／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会見川支部／水戸更生保護女性会／(株)エバタコーポレーション／水戸保護観察所社会貢献活動係／水戸市サブリーダーズ会／たまり場かねた／水戸市堀斎場／関東ビルサービス(株)／サークル・点心／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会中央支部／本の保健室／(株)フジクリーン茨城／(公財)茨城県教育財団／水戸市子育て支援課／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会笠原支部／ボイスカウト水戸第2団／戸田産業(株)／ともに歩む認知症の会・茨城／手話サークルたんぽぽの会／(株)匠建築研究室／水戸市母子寡婦福祉会／布の花／手話サークルさくらんぼ／ボランティア「コスモス」／(株)日本ドライ介護用品スマイル／茨城県隊友会水戸支部／ディライトホーム／吉沢学区子ども会育成連合会／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会東部支部／ばるーん・レインボー／話音絵＝わおんかい／水戸中央郵便局OB／鈴木立夫／莊司良一／大槻恭子／岩田登代子／市川由里子／吉原はるみ／井坂東志行／大谷光志／曾根孝次／忍垂宣子／島田悠生／島田悠志／田口三智子／町田静子／塙康子／遠西易子／雑賀大介／佐藤昭代／海老沢好子／池田洋子／小柳万里子／川村和雄／富田登代子／齋藤ひさ

〈寄付金をいただきました〉



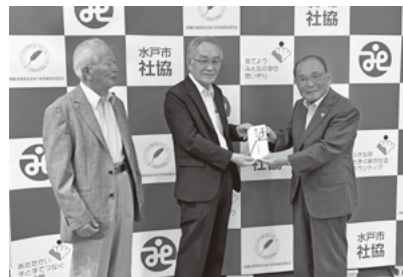
コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」様

〈寄付金をいただきました〉



歌を楽しむわかばの会様

〈寄付金をいただきました〉



NPO法人 ナルク水戸様

広報紙編集委員から



終盤を迎えるNHK連続テレビ小説「あんぱん」。ご覧になっている方も多いと思います。RADWIMPSが歌う主題歌「賜物」のミュージックビデオは、全編水戸市内で撮影されたことをご存じですか。市では、こういった映像作品の撮影支援も行っており、映画、ドラマなど、多くの作品が市内で撮影されています。市が撮影協力した作品は、市ホームページで確認できます。作品をとおして、水戸市の魅力を再発見してみたいはいかがでしょうか。

(寺門 久美子 記)

編集発行 水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141 水戸市赤塚1-1
(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-5001
FAX 029-309-5525
URL <https://www.mito-syakyo.or.jp>
E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp





ボランティアセンター だより

問合せ・申込み等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
<https://www.mito-syakyo.or.jp>
Eメール bora@mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日 9:30～16:30



あたたかい 手と手をつなぐ 奉仕の輪

あったか通信

ソーイングボランティア「にじの糸」

令和6年度ソーイング(縫製)ボランティア養成講座を受講した13名がボランティアサークルを立ち上げ、昨年末より日本赤十字社茨城県支部乳児院で使用するタオルエプロン、ミトン、食事エプロン・帽子などを作成する活動を始めました。

スタート時『タオルをミシンで縫いゴムを通す』と言うのは簡単ですが初顔合わせの皆さんと『縫い幅は?』『ゴムの長さは?』等々、試行錯誤しながらタオルエプロンを完成させ、何十枚と重なった品を見て笑顔になりました。

時には、ニット布地の小さなミトンの作成に悪戦苦闘しつつもお互いの経験や技術で乗り越え、更に使いやすい物を作成していこうと思います。

現在は、機材も整い食事エプロン・帽子の型紙作成や布地選びと手際よく縫製しています。少し余裕も出て『この柄可愛いわね』『この布地には、このバイアステープの色かしら』と楽しい会話をしつつ、小さな子どもたちの姿を思い浮かべながら月1回の開催ですがあたたかな気持ちが伝わる品を作成していきたいと思っています。



第24回ボランティアまつり in ミオス

「ボランティアまつり in ミオス」を今年も下記の日程で開催します!

各ボランティアサークルのステージ発表や体験ブースをまわりながらボランティアを身近に感じてみませんか?

また、ゲームコーナーや綿菓子、ポップコーンなどの飲食コーナーもご用意していますので、ぜひご参加ください。

【日 時】10月19日(日) 午前10時～午後2時

【会 場】水戸市福祉ボランティア会館
(水戸市赤塚1-1 赤塚駅北口 ミオス2F)

【内 容】手話や点字体験などの福祉体験コーナー、ボランティアサークル紹介パネル展示、水府病院による健康相談、障害者施設自主製品販売など

【主 催】水戸市ボランティア連絡協議会



※車でお越しの方は、駐車場利用券をお渡ししますので、赤塚駅北口駐車場(立体駐車場)をご利用ください



ステージ発表の様子



福祉体験の様子



健康相談の様子